

介護支援専門員実務研修 10日目

ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術

第7－②章

アセスメント及びニーズの把握

第3節 アセスメントからニーズを導き出す思考過程

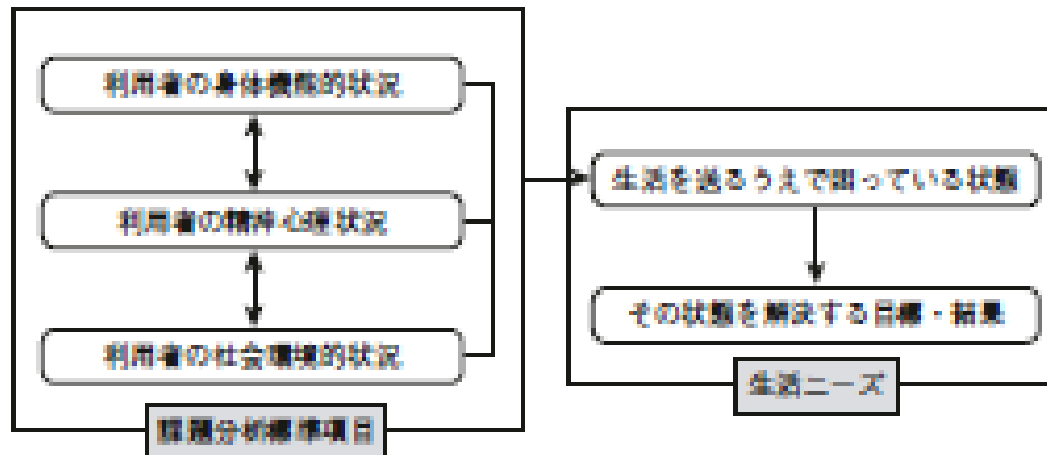
P. 421

1. 生活ニーズ

(1) 生活ニーズの定義

(2) 生活ニーズの記述方法

図7-②-3-1 課題分析標準項目を踏まえた生活ニーズの導き出し方



第3節 アセスメントからニーズを 導き出す思考過程

P. 422

- (3) 自覚されていない場合
- (4) 利用者の意向を聞き出す
- (5) 生活ニーズの優先順位

アセスメントの手順(再掲)

3.問題を整理、分析・統合する

①問題を整理する ⇒「起きている問題の理解」

②情報を分析・統合

◆利用者本人の状態と環境である背景を意識

・原因は何か、何が影響しているのか

◆課題分析(アセスメント)項目の奥行き情報を把握

・いつからどのように始まったのか

◆疾患との関連、ADLとの関連、家族関係(介護力)等との関連を捉えながら分析を繰り返す

◆支援が必要な状況を明らかにするだけでなく、

利用者や家族の持つ力の強さ、可能性にも着目

生活課題(ニーズ)の抽出

- ◆「表現された訴え」を様々な角度から分析し
“利用者にとって今必要なことは何か”を常に意識しながら、「悩み、困っていること」「問題」が対象者の生活にどのように影響を与えているのか、その程度はどの程度か、本人や家族の対処する力(内的資源)はどの程度かを見積もりながら真の「ニーズ」を理解していく。

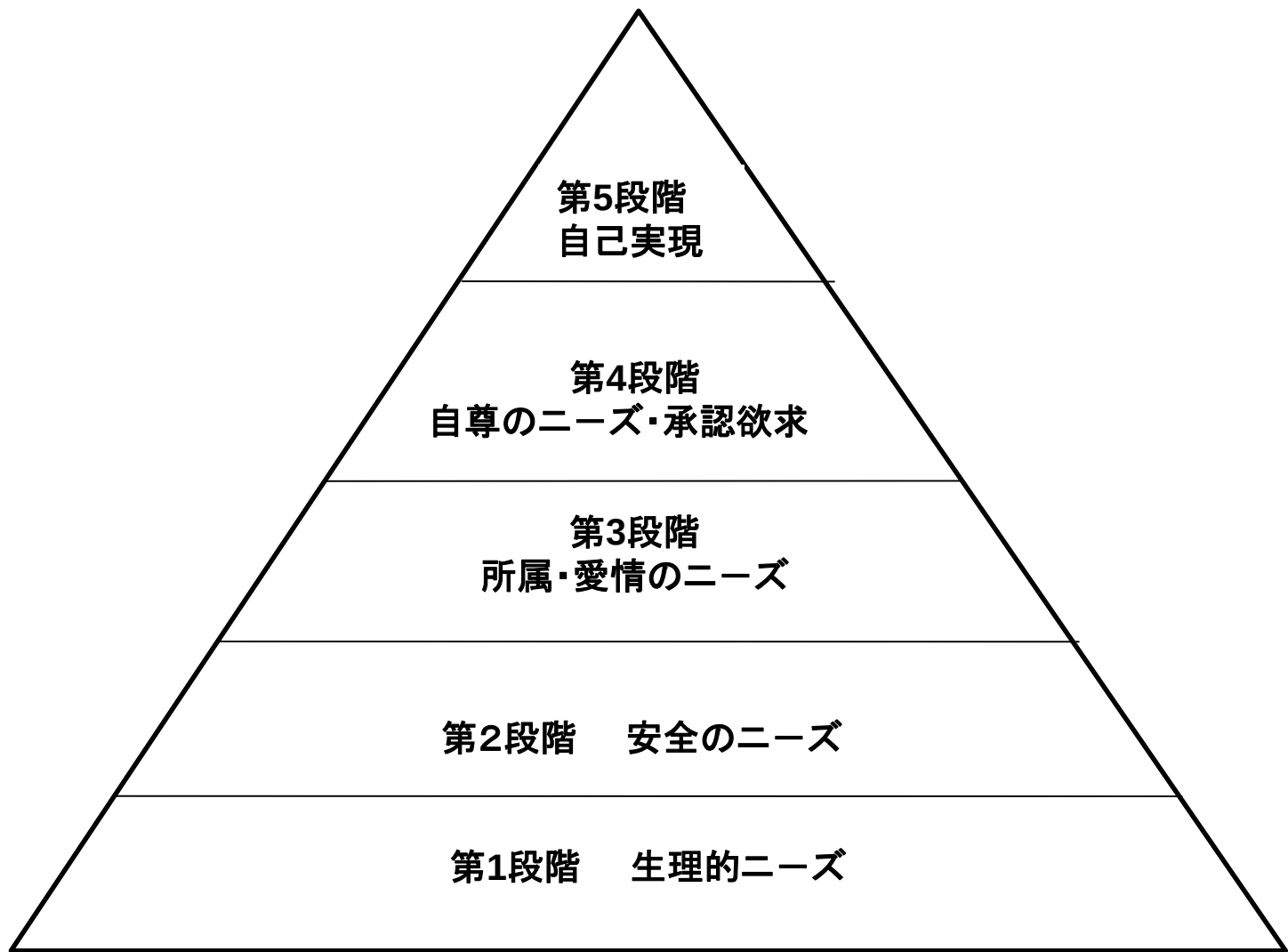


図3. A. H. マズローのニーズの階層性

生活課題(ニーズ)の抽出

1.主訴は何か

「表現された訴えは何か」

2.ニーズの優先順位

- 健康維持、生活の基盤に直結したもの
- 悪循環の原因となっていること
- 利用者が困っていると感じていること
- 援助を望んでいること
- 効果が見込まれるもの

第3節 アセスメントからニーズを 導き出す思考過程

P. 426

3. アセスメントツール

(1) 法的な規定を理解する

1) 適切な方法

2) 課題分析の実施

第3節 アセスメントからニーズを 導き出す思考過程

P. 426

(2) アセスメントツールの選択

- 1) 自分で使いやすいものを選択する
- 2) 事業所で使用するツールを使う
- 3) アセスメントに使用されている様式

(3) アセスメントシート

各自の事例で確認(演習)

ステップⅣ

- 「必要な支援」から、ニーズを把握
- ニーズの優先順位を考える